

第7回、朝活かみいち、の報告

第7回は以下のように実施され、多いに盛り上がりました。

◆概要

日時 ; 2月19日木曜、7時から8時まで

会場 ; 上市文化研修センター1階喫茶店、M's cloud

進行役 ; 井原真吾さん(メデルケ代表)

題目 ; 「上市、里山から生まれるライフスタイル
ーマッチポンププレゼンテーションで展開する」

参加者 ; 14名、上市町内からは7名。

取材 ; 県東部地域のケーブルTV「net3」

◆当日の様子を記録風に述べます。

<1>井原氏の自己紹介から始まり、「山で農業をやっており、冬場はスキーチューンナップとメデルケという団体がドレッシング作りをやってます」とのことでした。

<2>続いて参加者各自が「なぜ来たのか、何を期待してるのか」を含めて自己紹介があり、里山に関心があったとか、マッチポンププレゼンにひかれてとか、さまざまなお思いがあったとのことでしたが、井原さんの笑顔がとても素敵でしたからというのが一番多かったです(朝活案内FB(フェイスブック)に井原さんのスマイル写真掲載)。

<3>井原さんはスライドによる説明をしたくなく、会場でも皆さんとともに語り合いたいとのことでした。理由は、スライドであると、話の内容をストーリーとして決めてしまうと、自由な話し合いが出来ないからとのことでした。

そこでご提案されたのがマッチポンププレゼンです。これは進行役と参加者の掛け合いで話す方式であり、そのときのスピーキングのルールは、(井原さん持参の娘のぬいぐるみを持った人がしゃべり、その間は他の人が会話を遮らないこと、会話終了後には、ぬいぐるみを他の方に手渡すということでした。

こんなルールで参加者の参加型交流がいやがうえにも盛り上がりました。

<4>具体的なトークラリーをいくつか以下に記します。ただし、ニアンスや文言は正確ではありませんことお断りしておきます。;

・なぜドレッシングか

→ 漬物などの加工はどこでもやっているの、そうした加工を一步越えた段階としてである考えられるドレッシングに着目しました。

・毒キノコも使いようによっては

→ 面白いですね。毒キノコのアートでも考えてみようか。

・スイーツづくりはいいか

→ 山菜のスイーツって魅力的ですね。健康志向により栄養価も知らせるって言うのもいいし。イノシシのお菓子もいいですね。

・農業体験は結構あちこちでやっているがどう思いますか

→ あまり面白いとは思わない。おもしろければどしどしやります。グリーンツーリズムにもおなじです。

・学校との連携で子どもや生徒に里山の面白さを伝えてみては

→ 立山町の学校で話したことがあります。連携もありえます。

・里山ライフスタイルなら家庭ではどんなスタイルに

→ 家庭では楽しくしています。

・山の魅力をもっと発信しては

→ もっと考えたいですが、例えばドレッシングでも自分は農の職人だから心情的にはあまり広めたくないのです。

・黒川地区をもっと広められないか。

→ 黒川はいいところです。どうした方がいいのか、これからですね。

<5>今回は、会場が気楽な交流の場となりました。また富山の開ヶ丘で里山を楽しんでおられる方や素人の方々からの素朴な問いかけもあって、トークラリーが大変幅のある有意義なものになりました。もちろんこれもまたマッチポンププレゼンを通して引き出された、井原さんのものづくりへの熱い思いと職人氣質の賜物といえます。井原さんの職人魂に敬意を表して、まとめといたします。

井原さんそして皆さん、どうもありがとうございました。

